

事業所名	児童発達サポートはばたき	支援プログラム	作成日	2025年3月27日
法人（事業所）理念	すべての人の未来を輝かせる			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> お子様に温かな寄り添いと笑顔をあふれる楽しい居場所を創ります。 保護者に誠実に対応し、安心できる場所を目指します。 職員一人一人に質と、チームワークの向上を目指します。 			
営業時間	13 時	30 分から	17 時	0 分まで
	送迎実施の有無			
	支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康の維持改善、基本的スキルの習得、日常生活動作スキル獲得を支援する 定期的な心身の把握(毎回体温測定、気分把握) 生活リズムの安定(定期的かつ定時に通所) 持物管理 構造化を意識した部屋のレイアウト、掲示、支援(視覚的に「何がどこにあるか」「どこに何があるか」を絵などを使い具体的に表示) SST、ABAなどによる身体的、精神的、社会的訓練 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚統合運動療育(身体の動かし方や筋力トレーニング、体幹保持姿勢・バランス感覚を身に付け、専門的な感覚統合遊具、道具、サーキット等…全身機能の向上を目指します) 音楽に合わせて体を動かす遊びや粗大運動の向上 自然の素材や感触遊びや制作・作業を通じ手指先を使用した操作遊びによる巧緻性や感覚を刺激し、過敏・鈍麻の軽減に努める 戸外活動(公園遊具、周回走、散歩等)による体力づくり 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 天気、気温、日付の把握と確認による感覚、文字や数の認知形成 一日のスケジュールを視覚と聴覚にて促し、見通しの理解を図る(時間の認知形成) 粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成 ブロック遊びによる空間把握の認知形成 小集団でのゲームでの適切な物や空間の概念・行動形成、認知の偏りの配慮 感覚、認知の偏りに対するリフレーミング 季節の変化の興味などの感性形成のための外出、行動 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人との簡単な挨拶や会話のやり取りなど円滑なコミュニケーションを行うことができるよう支援します。 言葉や文字を通して今日の気分、自分の気持ちをプレゼンテーションして言語表出、受容確認 お友達と一緒に体験したこと振り返りシートを使用して話す 聞く力を養う 個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 様々な小集団生活でのルールやマナーの理解(順番や役割、見通し等) 様々な玩具や教材を使用した連合的な遊びの組み合わせ・役割分担のある遊びや作業などの共同行動 ルールの理解が必要な遊びや集団活動による理解や知識の習得 イベントなどを通した地域との交流 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 活動後の引継ぎや面談などを通じて、当事業所での活動をお伝えしながら ご家庭での様子や対応に困っている点などを共有する。 連絡帳を利用して、送迎サービスを利用している保護者と連絡を取る。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な会議に参加する。 対象のお子さんについて事前に情報共有を図り、学校や関係機関とのスムーズな連携・支援へとつなげる。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方から様子を聞いたり、必要に応じて、関係機関と連絡を取る。 担当者会議や学校訪問を実施する。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内外の研修会に参加する 事例検討会開催、参加する。 法人内の研修、情報共有を実施する。 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 親子運動会、記録会、秋祭り、ハロウィン音楽会、クリスマス会、お別れ会等 			